

概要

1. 慶應義塾ITCの目的

慶應義塾ITCは、義塾に必要な情報基盤を効果的に提供することによって、義塾の教育・研究の発展および義塾の円滑な運営に寄与することを目的としています。

2. 慶應義塾ITCの主な業務

- 義塾の情報化に関する中長期ビジョンの策定と実施
- 情報基盤に関連する研究、開発、調査および試験
- 情報基盤の整備、運用管理および運用規程の整備
- 教育・研究・経営に関するシステムの開発、運用および維持



沿革

1969年 4月	「情報科学研究所」設立
1979年10月	「慶應義塾大学計算センター」発足 ・情報科学研究所より業務部門が分離独立
1993年 4月	「メディアネット（メディアセンター）」発足 ・慶應義塾大学計算センターと研究教育情報センター（図書館）が統合
1996年 4月	「慶應義塾情報スーパーハイウェイ」構築 ・義塾の情報インフラの中核をなす高速なコンピュータネットワークを提供
1999年 2月	「慶應義塾大学ITC」発足 ・メディアセンターから情報システムサービス担当が分離独立
2003年 3月	「ITC統合印刷システム」導入 ・課金タイプのオンデマンド型ネットワークプリントシステムを提供
2004年 7月	「慶應義塾ITC」発足 ・義塾全体の情報基盤の整備・運用、システム化支援の業務を担当 ・事務部門の情報システム整備・構築担当と統合
2005年 3月	「慶應義塾共通認証システム」運用開始 ・義塾のシングル・サインオン・システムとして誕生
2010年 9月	「ITCシステム（ITCアカウント）」提供開始 ・キャンパス毎に構築されていたコンピュータシステムを統合することにより、利用者のアカウントを一元化
2014年10月	「慶應義塾大学学術認証フェデレーションシステム」運用開始 ・塾内アカウントによる認証で、学認に対応した外部情報サービスが利用可能

■ 慶應義塾共通認証システム (keio.jp)

keio.jpは、一つの認証システムを使うことで、慶應義塾が提供する多くの情報を活用できるようにすることを目的としています。keio.jpを活用することにより、学生・教員・職員を対象としたアプリケーションが利用者の属性に応じて利用可能になっています。

ITCが提供するアプリケーション	慶應メール.....	Gmailを利用した全塾共通のメールシステム
	授業支援.....	教材・レポート・お知らせ等を授業単位で提供
	ネットワーク接続認証.....	キャンパスにおけるネットワーク利用
	ソフトウェアライセンス取得.....	契約ライセンスの配布システム
	認証付ストリーミングサービス.....	ソフトウェア等の学習コンテンツの配信
	議事録システム.....	議事録の作成・修正・閲覧
	ファイル共有システム.....	教職員間でファイルを共有
	ナレッジデリバー.....	eラーニングシステム

ITC本部

<http://www.itc.keio.ac.jp/>

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45

三田ITC

<http://www.mita.itc.keio.ac.jp/>

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45

日吉ITC

<http://www.hc.itc.keio.ac.jp/>

〒223-8521 神奈川県横浜市港北区日吉4-1-1

信濃町ITC

<http://www.sc.itc.keio.ac.jp/>

〒160-8582 東京都新宿区信濃町35

理工学ITC

<http://www.st.itc.keio.ac.jp/>

〒223-8522 神奈川県横浜市港北区日吉3-14-1

湘南藤沢ITC

<http://www.sfc.itc.keio.ac.jp/>

〒252-0882 神奈川県藤沢市遠藤5322

芝共立ITC

<http://www.sk.c.itc.keio.ac.jp/>

〒105-8512 東京都港区芝公園1-5-30



慶應義塾ITC 所長
理工学部教授

野寺 隆

NODERA Takashi



21世紀の初頭を生きる我々にとって、社会の基盤を含めるあらゆる社会活動が情報技術によって支えられており、デジタル社会の中で生きることを余儀なくされています。このデジタル社会は日々急速に変化しており、利用者に必要な知識、技術、制度やスキルなどもどんどん新しいものに変化しています。特に、デジタル技術は今まで存在しない新しい方法や技術を使って人の社会活動を助けることができますのですが、反面、人の行動様式や社会制度を変化させることもあります。言うなれば、現代の我々はデジタル社会に対する心のときめきと恐れを伴う時代に生きていると言って過言ではありません。また、デジタル社会であるがゆえに、サイバースペースにあまり依存しない人と人と顔を合わせるコミュニケーションを行うことも重要です。

慶應義塾はこのようなデジタル社会における情報技術の導入や活用を推進するために1999年にITC (Information Technology Center) を設立し、さまざまな情報システム環境を提供してきました。ITCは、情報セキュリティを伴ったネットワーク環境、情報サービス、事務・経営管理の領域だけでなく、ネット社会と現実の中でさまざまな行き交う交差点の中で、利用者のコミュニケーションを助ける新しい安全で快適な情報環境の仕組みとサービスを提供することを目指しています。

ITCのサービス

コンピュータとネットワーク

ITCアカウントとSFC-CNSアカウント

ITCアカウントを使用して、各キャンパスに設置されたパソコン・プリンタ・ネットワーク等を利用することができます。なお、湘南藤沢キャンパスではSFC-CNSアカウントを利用します。

統合印刷システム

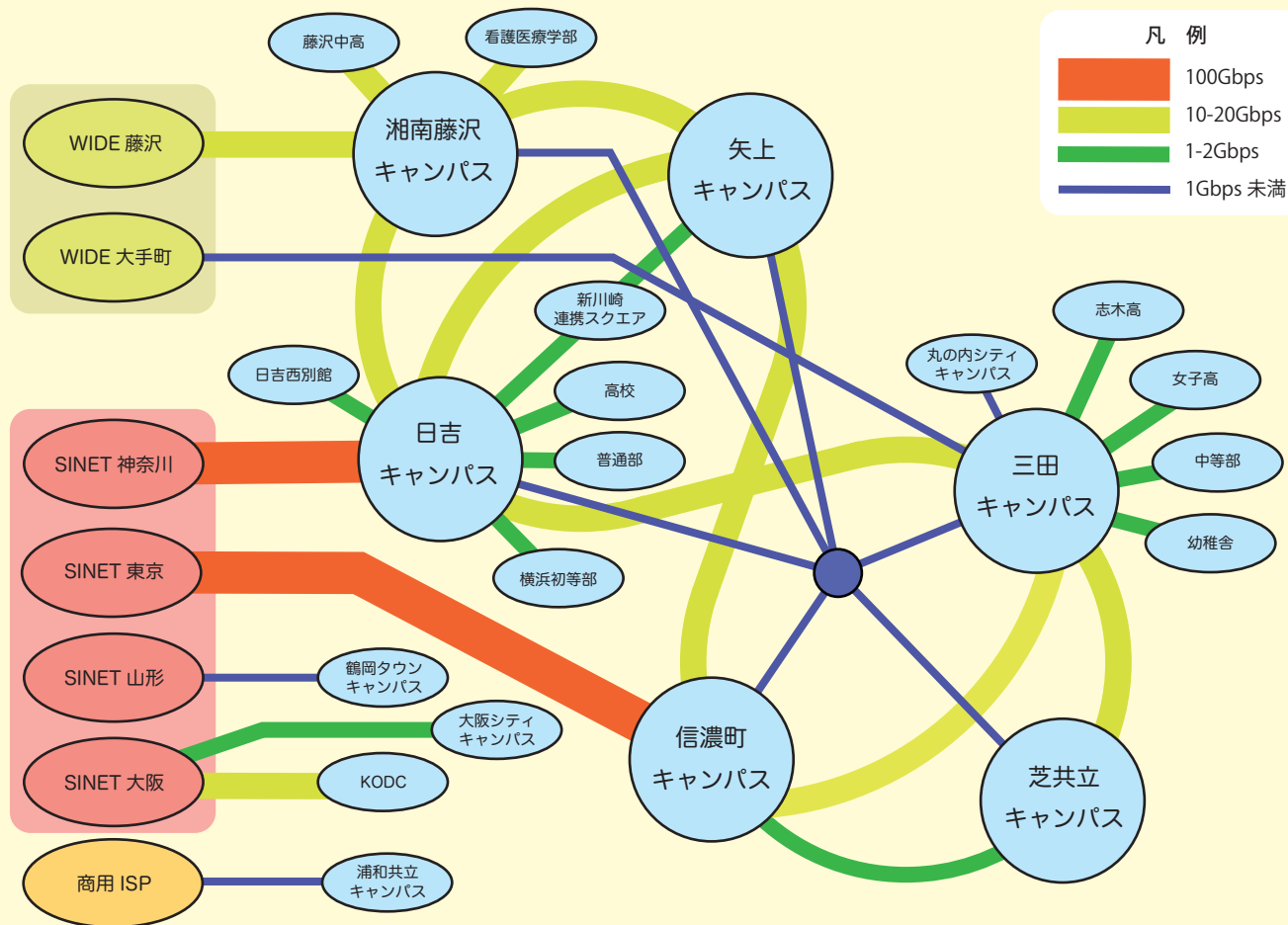
各キャンパスに設置されたパソコンまたは自宅のパソコンから印刷要求を行い、各キャンパスに設置された任意のプリンタで印刷することができます。印刷する際は、交通系ICカードを使用して精算します。

ネットワーク接続

塾内では有線LAN接続と無線LAN (Wi-Fi) 接続のサービスを利用することができます。また、eduroam (国際的な無線LANローミングサービス) を利用することも可能です。

慶應義塾情報スーパーハイウェイ (ネットワーク図)

2016年4月1日 現在



ソフトウェアと学認システム

ソフトウェア

慶應義塾では教育・研究活動の発展のため、オフィス製品、画像編集ソフトウェア、数式処理ソフトウェア、統計解析ソフトウェア、剽窃防止ソフトウェア、OSなど様々なソフトウェアについてサイトライセンスを契約し、学生や教職員に提供しています。

学認システム

慶應義塾大学の学術認証フェデレーション (学認) システムでは、塾内アカウントを使用してログインすることで、学認に対応したサービスを利用することができます。電子ジャーナル、eラーニングシステム、ファイル共有システム、ソフトウェア開発ツールなど多様なサービスが提供されています。

利用者支援

ヘルプデスク

ITCが提供しているサービスに関しては、各種利用マニュアルを整備することはもとより、学生や教職員の利用相談窓口を設置して利用者の問題解決にあたっています。

貸出パソコン

三田、日吉、信濃町、湘南藤沢の各キャンパスでは、学生にノートパソコンの貸出を行っています。貸出パソコンでは、慶應義塾が契約している各種ソフトウェアの利用ができます。

広報活動

ITCは情報環境の整備に関する広報のみならず、情報セキュリティや著作権保護に関する広報にも積極的に取り組んでおり、毎年新入生や新任教職員を対象の中心にすえて活動しています。